

| | | | | | |
|--------|-----------|---|---------|------|-----|
| 科目名 | 観光研究ゼミナール | 科目コード | 1235 | 単位数 | 2 |
| 担当者名 | 佐藤 博樹 | 開講セメスター | 第6セメスター | 開講年次 | 3年次 |
| 授業の方法 | 演習 | 到達目標 | F,H | 実務経験 | 無 |
| ナンバリング | LSe603 | DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照 | | | |

●授業のねらい

本ゼミでは、サービス経営をテーマとしたテキストに基づきPowerPoint 2019でプレゼン資料を作成し、発表とディスカッションを通してサービス経営の基礎知識を修得します。併せて、社会で活躍するビジネスパーソンに必ず求められる情報活用力を「Excelを活用したビジネスデータ分析力」とみなし、実戦的な仮想データの処理を通してそれら能力の獲得を目指します。以上から、PowerPoint 2019を活用したプレゼン力、サービス経営の基礎知識とサービス経営の現場で応用できるビジネスデータ分析の実戦的手法を同時に効率よく身につけ、ビジネスの現場で直面する経営課題を発見し解決していく能力を養成します。

●到達目標

サービス経営の成功事例を研究して、成功したビジネスモデルの要因を分析し理解する。
 PowerPoint 2019を使用したプレゼン力（資料作成力&発表力）を身につけ、狙い通りの効果的なプレゼンテーションが自在にできるようになる。
 ビジネスデータ分析手法ごとの目的、データ処理手順、結果読み方等をExcel 2019の操作テクニックと併せてマスターすることで、ビジネスデータに含まれる情報を目的に応じて自在に取り出し、活かせるようになる。
 ~ の学修過程で、学内無線LAN(WiFi)のアクセスポイントを経由してオンライン上の最新のサービス経営データや情報サービスに数多くアクセスし、効率的にICT（情報通信技術）を活用できるようになる。

●授業内容

- 1週目 ガイダンス（ゼミの運営方法、学内無線LAN(WiFi)のアクセスポイントを経由して教材やオンライン上の情報にアクセスする方法、その際のセキュリティとプライバシーに関する注意事項）、ビジネスデータ分析の定義と活用のポイント、データ分析の流れと進め方、データ分析の3原則等
- 2週目 ファンチャートで有望な商品を見つける（ファンチャートを活用する）
- 3週目 需要の価格弾力性で商品の特徴を知る（需要曲線、需要の価格弾力性を理解し活用する）
- 4週目 需要曲線から粗利益を最大化する販売価格を検討する（近似曲線、ソルバーを理解し活用する）
- 5週目 RevPAR、ADRでホテルの収益性を検討する（レベニュー・マネジメント、RevPAR、ADRを理解し活用する）
- 6週目 回帰分析で新店舗の売上を予測する（散布図、相関係数、単回帰分析を理解し活用する）
- 7週目 重回帰分析で新店舗の売上を予測する（重回帰分析を理解し活用する）
- 8週目 天気や曜日を使って販売量を予測する（重回帰分析を理解し活用する）
- 9週目 アンケートから改善項目を見える化する（CSポートフォリオ分析を理解し活用する）
- 10週目 他社の固定費と変動費を類推する（他社の損益計算書から費用を固定分解して損益分岐点売上高、損益分岐点比率、安全余裕率を求める）
- 11週目 設備投資を実施するべきか否かを判断する（投資の限界効率、内部収益率等を理解し活用する）
- 12週目 テキストに基づくプレゼンテーション1（第1章～第3章）+ディスカッション
- 13週目 テキストに基づくプレゼンテーション2（第4章～第7章）+ディスカッション
- 14週目 テキストに基づくプレゼンテーション3（第8章～第11章）+ディスカッション
- 15週目 テキストに基づくプレゼンテーション4（第12回～第14回）+ディスカッション
- 16週目 実施したプレゼンテーションに関する総合的な講評、要点確認等を行う。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行う。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・予習と復習は、基本的にテキストと学内無線LAN(Wi-Fi)を通して配付される講義資料を熟読し、併せてLMSで配信されるオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
- ・予習：毎回の授業で指示された箇所を予め熟読し、LMSで配信されるオンデマンド動画教材を視聴しておくこと。(90分程度)
- ・復習：LMSで配信されるオンデマンド動画教材を再度視聴し直すこと。
- ・予習・復習等においては、講義資料や学内無線LAN(Wi-Fi)を使用してオンライン上から入手した最新のサービス経営データや情報サービスを活用して課題に取り組む。

●成績評価の方法・基準

- ・成績は、学習姿勢、データ処理の実践能力、プレゼンテーションやディスカッションへの参加結果、オンデマンド動画教材の視聴状況等で総合的に評価します。
- ・成績評価に際しては、授業態度も判定要因とすることがあります。

●履修上の留意点

- ・講義は原則として対面で開催し、オンデマンド動画教材も同時に配信します。
- ・授業中も随時指導しますが、基本的に毎回パソコンを使用するのでコンピュータ・リテラシーの内容をしっかりと理解しておくこと（特にExcel 2019の表計算、グラフ機能、データベース機能を使用）。
- ・講義の受講時におけるマナー・注意事項について注意を受け、改善の兆しがない者は不合格となることがあります。

●課題に対するフィードバックの方法

- ・個々のプレゼンテーションに関する講評は、原則として毎回ディスカッション後に行います。

●テキスト

- ・伊藤宗彦・高室裕史編『1からのサービス経営』（碩学社）2,400円
- ・自作の資料プリントも随時配付します。

●参考書

- ・高橋一夫編『観光のビジネスモデル』（学芸出版社）2,500円
- ・安田亘宏『観光サービス論』（古今書局）2,300円

